

笛吹市こども計画（案）に対するパブリックコメントの募集結果について

- 1 意見募集期間
- 令和7年1月23日（木） から 令和7年2月20日（木）まで
- 2 意見の件数
- (1)意見をいただいた人数 7人（うち電子メール：20件、ファクシミリ：12件）
- (2)意見の件数 32件

3 意見の反映状況

No.	反映区分	件数
1	計画に意見を反映させるもの	1
2	意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの	7
3	今後の取組で参考にするもの	15
4	計画に意見を反映できないもの	1
5	その他（感想等）	8
合計		32

4 提出された意見と意見に対する考え方

No.	提出された意見	意見に対する考え方	結果	計画案への記載内容
1	子どもたちとの会話の中で「高校へ行く為には電車が必要だけれども、駅が遠い」との話題が出ます。 非現実的なこととは承知の上で、行き止まりの駅、モノレール、路面電車などが町内にあるだけでも、子どもたちの行動、夢、希望が広がると思います。	移動手段の充実については、本計画内で直接的な施策となっておりませんが、令和7年4月から本格運行するAIデマンド交通「のるーと笛吹」の効果的な運用や公共交通機関への働きかけ等を通じて、引き続きより良い移動環境の実現に向け、努めていきます。	5その他（感想等）	
2	子どもたちからも、お年寄りや障がいを持っている方々にも優しい街を・・・との声が出ている為、子育て支援はもちろん、全ての人に支援が行き届く政策を希望します。	いただいた御意見については、担当部署と情報共有させていただきま	5その他（感想等）	
3	様々な良い施設、素敵なアイデアを持っている方々が多くいらっしゃるので、子どもたちの声を実現させるためにもご尽力いただきたいです。未来ある子どもたちが幸せに成長するためにも、市民の安全・安心・便利な街は重要だと考えます。	本計画には、子どもの意思表明・参加の仕組みづくりを推進することから「こどもたちの声」を聞くことを取組の一つとしています。 防犯対策、交通安全対策、食の安全対策をはじめ、安全・安心に向けて、ハード・ソフト両面から様々な取組みを進めています。今後も、全庁的な視点で、市民の安全・安心・便利なまちづくりを推進します。	2意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの	
4	自然やくだものが多い安心、安全で笑顔のある街を求めているようですね。子ども、障がい児・者、お年寄り・弱者にやさしい街	本計画では基本理念を「みんなが自分らしく喜びをもって 成長できるまち ふえふき」と定めています。この基本理念の実現に向けて、ご指摘のような、誰もが安心して笑顔で希望をもって成長できるまちづくりを目指します。	2意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの	

No.	提出された意見	意見に対する考え方	結果	計画案への記載内容
5	のーとやごみステーションなどの使いやすい街	AIデマンド交通「のーと笛吹」やごみステーションの利便性の向上につきましては、本計画内で直接的な施策となっていませんが、関係課に情報を提供し、今後取組の参考とさせていただきます。	5その他（感想等）	
6	公園に安全な遊具や、健康器具があったり、子ども食堂のような、子ども、お年寄り、親子が気軽に立ち寄れるスペースが公園の隣にあったらどうか？皆で見守り、交流ができるのではないかな？	公園内の施設・設備や子ども食堂の設置につきましては、本計画内で直接的な施策となっていませんが、ご意見を参考に、関係課や交流スペースの設置者と情報共有し、今後取組の参考とさせていただきます。	5その他（感想等）	
7	病児、病後の手続きが簡単でスムーズに預けられるシステムがあると、親の働き方やストレスが軽減されるような気がする（人まかせではなく、親子のコミュニケーションも大切にしながらの利用がよい）	病児・病後児保育事業につきましては、「病児・病後児対応型」だけでなく、「体調不良児対応型」についても受け入れを広げるなど、保護者の就労を支援する体制づくりを進めているところです。就労先での、仕事と子育ての両立に向けた意識啓発などを通じて、親子のコミュニケーションも大切にしたい子育て支援施策の展開を図ります。	2意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの	
8	子ども、お年寄り、障がいのある人にやさしいと思える笛吹市になってほしいと思います。 小学生、中学生、高校生などが利用できる居場所を作ってもらいたい。 【理由】 中学生以上の子どもたちは、部活などをしていてなかなか自分の時間を持つことができないので、少しでも居場所があれば、お友達とコミュニケーションが取りやすくなるのかと思いました。 最近では夏が暑く、冬は寒いので、施設の冷暖房完備されるといいと思います。	本市は、市民誰もが幸せを実感し心にゆとりを持ち、優しさあふれるまちになるというビジョンのもと、市の将来像を「ハートフルタウン 笛吹～優しさあふれるまち～」としており、その将来像にあるとおり誰にとっても優しいまちづくりを進めています。 子どもたちの居場所作りとしては、例えば児童館があります。0歳から18歳の子どもの利用対象とし、遊びを通じて子ども達の健全育成を図っています。令和7年度は、一宮児童館のエアコン改修工事及び境川児童館のエアコン設置工事を計画しており、環境の充実にも取り組んでいきます。子どもの居場所づくりは必要な取組と考えていますので、引き続き推進していきます。	2意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの	
9	R6.4.1学童保育は笛吹市内10施設31教室を有している。全体定員1,319人に対して登録児童数は1,143人になっている。 R6.2～3月に「健康増進に係る市民アンケート」、R6.3月「笛吹市子ども子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査」、R6.7～8月に「笛吹市こども・若者調査」を行い、子ども基本法の、子どもの権利の尊重を基盤として生涯にわたるウェルビーイングの向上、児童虐待、不登校に対する対策、身近に相談できる場所や個々の状況に応じた支援などが求められていることより、第二次笛吹市総合計画で掲げた「ハートフルタウン 笛吹～優しさあふれるまち～」として笛吹市SDGs推進方針、SDGs17の目標、持続可能な開発目標17のゴール（目標）を打ち立てた。その中で困ったこと、助けを求める時、落ち着ける心の安定が確保でき、やすらげる時間を持てる場所の環境づくりや経済的な支援を行ったり子育ての辛さや負担、不安を取り除く居場所づくりをして、子どもが差別されず、自由に意見が言えて尊重され、命が守られて成長でき、文化芸術を目指し各々の立場に立って考え、17の目標をそれぞれに照らして合わせて対応しようとしていて、一人ひとりを理解し一人のニーズに真摯に向き合って下さっていることが良く理解できる。その中で自分自身の場合について考えてみた時、稚拙な思いで一個人の立場でしか考えられていないのかもしれないが、本当に困った時や悲しく苦しい時、これらを素直に利用することができるのだろうかと思ふ。そこには、やはり信頼や安らぎを覚える繋がりがある個人にとっては不可欠だと感じる。少しずつでもこれらの目標に心を添わせて協力してゆきたい。	各種相談・支援施策を利用できない、または利用をためらう方も一定数存在します。 普段から、気軽に相談しやすい体制づくりを進めるとともに、支援が必要な人に対するアウトリーチ型の支援も含めた様々な相談支援体制の充実を図ります。	2意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの	

No.	提出された意見	意見に対する考え方	結果	計画案への記載内容
10	人口が減ってきている山梨県・笛吹市も同じような状況かと思います。笛吹市住民として笛吹市に定住してもらうにはどうしたらいいのか。 子育てがしやすい環境。保育園、支援センター、助成金など。 お年寄りが住みやすい環境。 仕事があり、（市外にでも）アクセスしやすく若いファミリーにも多勢住む選択肢の一つに入る街づくりをしてほしいと思います。	本計画においても、救急医療事業、子育て世帯住宅取得補助事業をはじめとする、子育て世帯に対する様々な支援や、子どもの安全・安心の確保を通じて、住み続けたいくなる環境の整備に努めます。	2意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの	
11	色々な意見が通るようにしていただけたらと思います。	本計画においても、子ども基本法の趣旨にのっとり、子どもたちが自己の能力に応じて意見を表明し、社会参加ができる仕組みづくりを推進します。	2意見の趣旨が既に計画に盛り込まれているもの	
12	惜しみなく税金が使え、市民の皆様が納得いく使い方ができることを望んでいます。	本市においては、議会を中心にした真摯な議論を通じて、必要な施策・事業に必要な予算があてられるよう努めています。 いただいた御意見については、担当部署等と情報共有させていただきます。	5その他（感想等）	
13	オムツ用のゴミ袋（200）が支給について 使い勝手が悪い。（すぐいっぱいになってしまう等）枚数が少なくとも450の方が良い。BOSS（消臭袋のメーカー）のような消臭袋の方が良い。	担当部署と情報共有し、今後取組の参考とさせていただきます。	3 今後の取組で参考にするもの	
14	乳幼児が遊べる室内の体育館のような広い場所がほしい。 天候不良時、夏季（猛暑で夕方になっても外で遊べないので）、強風など室内で走り回れる場所の受容は大きいと思う。 特に石和町は昼間使える体育館のような場所が無いので不便。 スコレーも基本土足と聞いているので、衛生面が気になる。	担当部署と情報共有し、今後の施設整備を検討する上での参考といたします。	3 今後の取組で参考にするもの	
15	一時預かりの充実、ファミサポの負担軽減。 ファミサポは特に1時間毎の料金設定なので、不妊治療など定期的な通院が必要で他に預けるところがないときに結構負担になっている。	サービスの利便性向上につきましては、今後も関係者等と協議を重ね、改善に向けて取り組んでまいります。	3 今後の取組で参考にするもの	
16	公園の遊具の使い勝手 どういう人が遊具の選定にあたっているのか疑問。 八代ふるさと公園の遊具が新しくなったが、小学生でも危険だと思われる箇所があった。（ターザンロープのところが坂道になっているので、着地点のところで落ちそうになってしまい）	遊具の安全については、担当部署と情報共有をし点検等により安全確保に努めてまいります。	5その他（感想等）	
17	ふえふきみんなのひろばの遊具・・・個人の寄付で設置されたと聞いた。防災公園ということも聞いてはいるがもう少し増やしてほしい。災害時もいつも子どもたちが安心して遊べる場所が必要。	いただいた御意見については、担当部署と情報共有させていただきます。	5その他（感想等）	

No.	提出された意見	意見に対する考え方	結果	計画案への記載内容
18	公共施設等のベビールーム、オムツ台について 特に公共施設は、個室内のオムツ台だけでなく別にベビールームを作ってほしい 個室内のオムツ台の向きが、横のものが使いづらい。オムツを代えるときは子どもを縦にすることを設置する側が考慮していないのが疑問。 オムツ台の位置が悪く、すぐくオムツを代えづらい場所がある（台と個室の扉の位置等）設置するときは、赤ちゃんの人形などを使ってオムツ替えを想定しながら当事者の立場にたって設置してほしい。	担当部署と情報共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。	3 今後の取組で参考にするもの	
19	2歳未満の給付金（1万円） もらえることそのものがあるが、そこにかかる事務量などを考えるともっと有効に使ってほしい	事務の効率化に努めながら、多様な給付の実現に努めてまいります。	4 計画に意見を反映できないもの	
20	子育て支援拠点 働き始めても行きたいと思うので、土日や夜の開所もしてほしい。	多様なニーズを踏まえ、今後もサービス提供者等と連携し、子育て支援サービスの充実に努めてまいります。	3 今後の取組で参考にするもの	
21	福祉利用について 放課後デイサービス等の月額使用料限度額が、月約5,000円設定の次が所得制限がかかると月約38,000円になってしまい負担が大きすぎる。市単でよいので保育料のようにもう少し間の金額設定をしてほしい。	担当部署と情報共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。	3 今後の取組で参考にするもの	
22	提出書類のIT化について 子どものことや福祉のことなど、自治体に申請を出すときに、何回も名前を書いたり住所を書いたりすることがある。両者（市民、自治体職員）の負担軽減のためIT化を推進してほしい。	全庁的に、市民の皆様の利便性向上と事務負担の軽減に向けて、ICTの導入を進めています。担当部署と連携し、今後も取組を進めてまいります。	3 今後の取組で参考にするもの	
23	保育所には保育時間が掲載されているが、小規模・幼稚園・こども園は時間が記載されていない。掲載項目は統一したほうがいいのでは。	ご意見に沿って、記載内容を修正いたします。	1計画に意見を反映するもの	①P11中の表 「■市内の小規模保育事業所」 ②P12中の表 「■幼稚園別の市内在住児童数」 ③P12中の表 「■市内の認定こども園」 上記①②③に、別表（修正後）のとおり追加する。

No.	提出された意見	意見に対する考え方	結果	計画案への記載内容
24	いじめの発生件数 発生件数のほか、解決した件数、警察に通報した件数などももう少し詳しいデータがあれば、改善策も見つけやすいのでは。	詳細につきましては、秘匿性が高いことから、「子ども・子育て会議」等に情報提供してまいります。	3 今後の取組で参考にするもの	
25	妊娠届け出週数 20W以降の届け出が少し見られるとあるが、具体的な理由が記載されていれば事業を展開しやすいと思う。	具体的な理由につきましては、個別性が高いことから、必要に応じて関係機関等と情報共有し、寄りそった支援に努めてまいります。	3 今後の取組で参考にするもの	
26	21時までには就寝しているこどもの割合 逆に21時以降に就寝している子どもたちが、なぜそうなっているのか（保護者の帰宅が遅い、子ども自身の問題等）を調査しているのであれば、そこも掲載してほしい。	調査では、具体的な理由の検証は行っていないですが、テレビ・スマートフォンの利用やライフスタイルなどが要因と考えられます。	3 今後の取組で参考にするもの	
27	産後1年未満に協力してくれた人はいたか はいが93%と答えた人の中で、協力してもらったなかでの問題点などがあれば調査してほしい（実家に協力してもらったが、親とうまくいかなくなってしまった。夫は協力したつもりでいるが、という話もきく）	今後の調査の際の参考といたします。	3 今後の取組で参考にするもの	
28	中高生の「今の自分が好きだ」という問いについて そう思う、思わないなど選択に至った子ども本人の理由も知りたい。	今回の調査では、理由についての問いは行っていない。今後の調査の際の参考といたします。	3 今後の取組で参考にするもの	
29	地域子育て支援センター事業 ライフステージについては、利用中心になる年代は乳幼児ですが、地域連携が強く求められており、また学生と拠点を結ぶことが今後の子育て支援につながることを考えると、全年齢になるのではと思います。	ライフステージ別の対応につきましては、主な対象を記載しています。ご意見のとおり、乳幼児に限らず、幅広い世代がつながる拠点として活用していきたいと考えています。	3 今後の取組で参考にするもの	
30	現在市の予算のどれくらいを子育て予算に計上しているか、（今後の予算の増減の予定などもわかる範囲で）参考資料があってもよいかなと思いました。	今後、計画策定の際の参考といたします。	5 その他（感想等）	
31	子どもたちの意見をもっと身近に感じて取り入れるためにも、子ども議会の開催など本当に子どもたちが「まんなか」になれるように進めていってほしいと思います。	令和6年7月の「こどもまんなか応援サポーター」宣言をはじめ、子どもたちが「まんなか」のまちとなるよう、一層努めてまいります。	3 今後の取組で参考にするもの	
32	子ども計画の存在やパブリックコメント募集のことを知っている保護者がほとんどいなかったのので、告知方法を再考していく必要があると思います。	より効果的な告知方法につきまして、研究を進めてまいります。	3 今後の取組で参考にするもの	